

## 平成31年度(2019年度)学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	68		学校名	茨城県立牛久栄進高等学校				課程	全日制		学校長名	菅原 佐知子				
副校長名	君山 弘		教頭名	木村 和広						事務室長名	吉田 孝則					
教職員数	教諭	60	養護教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	2	実習教諭	1	事務職員	4	技術職員等	4	合計	81
生徒数	小学科	1年		2年		3年		合計		合計クラス数						
		男	女	男	女	男	女	男	女	24						
	普通科	141	181	146	171	131	180	418	532							

## 2 目指す学校像

IoTやAI等をはじめとする技術革新やグローバル化の一層の進展, 更には人口構造の変化など, 社会環境の変化が激しさを増す時代において, それらに柔軟に対応できる力を育む。同時に, 豊かな人間性と自主自律の態度を身に付け, 進取の気概あふれる創造性豊かな青年を育成する。

## 3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
教科指導	生徒それぞれの教育的ニーズに応じ, 単位制の特長を最大限に生かした教育課程の編成, 選択科目の講座の開講に努めている。「1分を大事にする授業」を意識し, 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け, 年次・教科で指導の改善に取り組んでいる。また, ICT機器等を積極的に活用し, 教育課程の整備を推進している。	教員それぞれの授業内容・教授法に関する研究・研修をさらに進める必要がある。そのために, 校内での教員相互の授業参観及び校外研修のフィードバックに加え, 教科による先進校視察の実施が肝要である。
特別活動	様々な学校行事への取り組みにおいては, 生徒たち全員が大変積極的に取り組んでいるが, 生徒会や委員会活動への自主的な参加はまだ十分とは言えない。部活動は加入率が高く, 運動部及び文化部ともに, 全国大会や関東大会など, よりレベルの高い大会への出場を目標にして活発に行われている。	生徒会・常置委員会, 部活動の存在意義とその必要性について理解を深めさせ, 生徒の自己管理能力を高めるとともに, 生徒の自主性を育むために, 自ら考えて積極的に行動する力の育成をどのように図っていくか。
生徒指導	基本的な生活態度は身に付いており, 礼儀正しく真面目な態度であるが心因性の悩みを抱える生徒もおり, 教育相談等を必要とする生徒は少ない。また, 交通事故や不審者遭遇等の発生件数は減少傾向にあるが今後も安全教育の徹底が求められる。	生徒同士の人間関係形成能力や規範意識の更なる向上, 及び課題を抱える生徒の早期発見及び保護者・関係機関との連携を如何に図るか。生徒に危機察知及び回避能力等を如何に身につけさせるか。
進路指導	ほぼ全員が4年制大学への進学希望であり, より高い進路目標の実現に向けて, 個別面談を充実させるなどきめ細かな指導を行っている。平成31年春の国公立大学現役合格者数は87名で, 一橋大学, 東北大学, 早慶上理など難関大学への合格者も輩出した。	一人一人の生徒の進路実現に向けて, 如何にして学校全体における組織的協働体制を確立し, 国公立大学120名(うち難関国公立大学20名)以上の合格を実現し, さらに如何に質的向上を図るか。

## 4 中期的目標

- 1 『活力ある進学校』  
一人一人の個性と創造性を最大限に伸ばす、『活力ある進学校』を目指す。
- 2 『個に応じた学習指導』  
単位制のシステムを生かして、個に応じた、より深い探求学習を展開する。
- 3 『自主自律の人づくり』  
主体的に行動し、自分の未来を自分自身で拓く、『自主自律の人づくり』を目指す。

## 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
教科指導 － 授業第一主義～授業は真剣勝負～ －	ア 単位制のメリットを生かした教育課程の編成及び1分を大切にする授業の実践により、生徒の学力向上を図り個々の生徒の進路希望実現に繋げる。また、教員研修の奨励とともに、授業研究・授業改善をより一層推進し、主体的・対話的で深い学びの実践，論理的思考力の育成等，教育改革に十分対応した授業実践・教科指導に努める。 イ すべての教科が連携し、「チーム栄進」として学校全体で協働体制を構築し、水準の高い教育活動の実践に努める。
特別活動 － 部活動や生徒会活動の充実及び積極的参加の奨励 －	ア 学校生活における様々な活動をとおして自主的精神を養い、行動力を培うとともに、より良い人間関係の形成を図ることが今後の社会を担う「人財育成」に不可欠と考え、生徒の特別活動への積極的参加を奨励する。 イ 生徒が主体的に参画できる学校行事の充実に努め、生徒の能力を十分に生かした活力ある学校づくりを推進するとともに、愛校心の醸成を図る。
生徒指導 － 社会的責任を自覚し、良識ある行動のとれる生徒の育成 －	ア 学校生活全般に於いて生徒の規範意識の高揚と道徳的実践力の向上を図り、自律的で調和のとれた生徒を育てる。 イ 他者を尊重する態度を養い、生命の尊さを認識させるとともに、安全教育を重んじて生徒の危機察知及び危機回避能力を高め、事故やいじめの未然防止に努める。
進路指導 － 生徒一人一人の特性を生かした丁寧な指導 －	ア 教員一人一人が進路指導力を高め、生徒の進路希望を高い次元で実現できるよう全教員で研鑽に努める。 イ 各年次や各教科と「e-Top推進室」の連携を強化し、難関大学への進路希望実現に向けて確実で有益な情報提供及び学習指導の充実を図る。
国際理解教育の推進 － 国際交流と海外派遣 －	ア 国際交流事業を通じて視野を広め、世界各国への理解を深めることでグローバル社会で活躍する人材を育成する。 イ 今年度は豪州オレンジ市への派遣を実施し、自国を見直しつつ異文化を理解・尊重する国際協調の精神を育てる。
保護者及び地域社会との連携 － 積極的な情報発信と 地域に開かれた学校づくりの推進 －	ア 学校HPや「栄進ホットメール」、各種メディアを活用し、本校の教育活動や学校情報を積極的に発信する。 イ 保護者と学校が常に連携を密にし、生徒の健全育成と生徒の夢の実現に向けて共に協力・支援していく。 ウ オープンハイスクールや各種説明会、中学校訪問をとおして本校についての理解を更に深めていただくよう努める。 エ 地域との連携を強化して地域活動等にも積極的に協力し、地域社会の期待に応え、信頼される学校づくりに努める。